

福島第一原子力発電所 事故に対する認識は

佐藤 清治

(問) 東日本大震災により発生した福島第一原子力発電所での事故は、歴代政府と電力業界が宣伝してきた安全神話が全くのウソであることを明らかにしました。市長として、これまでの原子力政策について、どのような認識か。

(答)市長 国、東京電力には一刻も早い事態の収束にむけ全力をつくしていただきたい。

原子力の利用については当面、既存の原子力発電所の安全対策に万全を期しつつ、長期的には原子力発電に過度に依存しないエネルギー政策に転換していくことが必要と認識しております。

(問) 吉川市内で民間アパートに避難している方々への家賃補助を早急に実施するべきでは。

(答)市長 県が民間アパートに避難されている方々について応急仮設住宅として借り上げる計画でございます。

県で実施することが決まり次第、市内に避難している

方々に対して情報提供をしてまいりたいと考えております。

◆ 駅北口スクランブル交差点の改善はいつか

(問) 改善を求めて日もたつが見通しは。

(答)市民生活部長 引き続き要望してまいります。

◆ 国保税の引き下げを

(問) 引き下げを求める声が多数寄せられている。引き下げを。

(答)市長 国民健康保険税を引き下げられる状況にはないと考えております。

情報は迅速に伝えよう

安田 真也

(問) 防災行政無線の長所と短所。同様に、ホームページの長所と短所は。

(答)市民生活部長 防災行政無線は現在71の拡声子局があり、市民の皆さんに重大な影響のある緊急情報を該当地域または市内一斉に周知する手段として活用されている。ま

た、停電時も内蔵の蓄電池により使用可能。一方、現在の住宅は防音性、気密性が向上しており、家の中で聞き取



吉川市防災マップ

き、海外等にサーバーがあるため、地震や停電など災害に強いという点がある。近隣市では、春日部市と三郷市が実施しており、災害時には刻々と状況が変化する情報を迅速に伝えることができる

た、停電時も内蔵の蓄電池により使用可能。一方、現在の住宅は防音性、気密性が向上しており、家の中で聞き取

美南駅東口駅前広場を大きく、
県道アクセス道路は幅員7m

齋藤 詔治

(問) 来春四月吉川美南駅開業、現計画の東口駅前広場は狭い、もつと広く、既存県道より新駅まで進入路4.7mは狭い、大型バス等がすり替えて、幅員7m以上確保整備。

(答)都市建設部長 開業時暫定3千㎡、通常の乗降スペースで支障ないものと考えています。日本船燈脇の市道を舗装幅4.7mで暫定的な整備をし、周辺地域の区画整理事業において実施。

は誰でも無料で登録利用で

◆ 吉川美南駅開業に併せ一日でも早い新駅周辺開発を
(問) 今日の吉川市の新たなまちづくりは、周辺開発の目途が立たなければ全てできない、一日も早い開発の促進を。

(答)市長 周辺地域のスプロール化が懸念され早期の都市計画決定へ県と協議調整を実施。

◆ 調整区域内の整備手法に都市計画法による区域指定は
(答)都市建設部長 現段階では難しいと思いますが必要性は十分認識しており研究する。

◆ 災害に強いまちづくりを

(問) 市内の住宅地の一部には車も出入りできないような、狭い通路を利用している住宅地があります。また狭隘の多くの道路による住宅地もあり大震災等考えると多大な被害が想定されます。早急な対応を。

(答)都市建設部長 地域の特性を考慮しまちづくり協議会や関係する権利者と協議のもと、地区計画の活用により防災機能の向上を図ってまいります。

た、停電時も内蔵の蓄電池により使用可能。一方、現在の住宅は防音性、気密性が向上しており、家の中で聞き取

ることは難しくなっている。ホームページでは、様々な情報をリアルタイムに市内外の多くの人に伝達できる。しかし、パソコン等に不慣れた方については、その情報を入力することは困難と思われる。

(問) 情報は、いつでも誰でもどこでも入手できるように、手間は網の目の様に準備しておくべき。現在、防災行政無線、ホームページ、回覧板、掲示板、広報車、そして導入予定の防災情報メール配信があるが、ツイッターを導入すべきでは。

(答)市民生活部長 ツイッターは誰でも無料で登録利用で